

みなさま、初めまして。藤江 大悟（ふじえ だいご）と申します。今年の3月に帯広畜産大学を卒業し、4月にトータルハードマネジメントサービスに入社いたしました。この場をお借りして自己紹介させていただきます。

大阪で生まれ→京都→滋賀→大学から帯広へ→この春から別海で、右上にしか進めない角行のように、北へ東へとやってきました。調子に乗って角行なんて言ってみましたが、将棋は全くできません。お手柔らかにお願いします。

趣味は推理小説と漫才を見ることですが、大学時代6年間北海道にいたので道の駅巡りやスノーボード、溪流釣りや山登りも少しかじりました。推理小説は読むだけではなく、執筆の方もしたいと思っていますが、大学時代から温めているストーリーの構想を、形にできずに卒業してしまいました。生きているうちに、書き上げられればと思っています。部活動は中学までサッカー、高校と大学はバレーをしていました。バレー部時代は弱いタッチのフェイントの使い手でした。強いボールは打てませんでしたが、フェイントのために、強打できるぞというオーラを醸し出す練習をしていました。

滋賀の実家の近くには牧場直営のジェラート屋さんがあり、衛生管理が今ほど厳しくなかった子供の頃は、ホルスタインに牧草をあげて触れ合っていました。その時にホルスタインに一目惚れし、更には高校の修学旅行で北海道に一目惚れし、牛の獣医になるために北海道にやってきました。そんな私ですが、大学時代には大動物臨床の研究室に所属し、蹄病を中心に様々な牛に触れる中で、可愛いだけじゃダメだとも知ることができました。酪農家の方々と牛の期待に応えられる獣医師に、早く成長したいと思います。

これまで、色々な方々や牛たちにお世話になってきました。これからは、北の大地で獣医師ができる喜びを胸に、恩返しできるように誠心誠意取り組んで参りたいと思います。まだまだ学ぶことは多いので、日々成長し、皆さんに信頼していただける存在になれるよう努力してまいります。これからどうぞよろしく願いいたします。

